

百尺竿頭

ひやく しゃく かん とう



札幌市青少年山の家だより

第33号

平成25年(2013年)4月1日発行

札幌市青少年山の家
館長 齊藤 隆仁

「自然の中で・・・」

例年がない気候で「春はいつ来るの?」というほどの大雪がまだ残っていますが、木々は「もうすぐ春が来るよ」と木の芽が大きくなってきています。

日頃より札幌市青少年山の家をご利用いただき誠にありがとうございます。また、山の家の運営に関して深いご理解とご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、平成25年度も札幌市青少年山の家は野外教育施設として、生涯学習の観点から野外活動の普及を目的とした利用促進を図るとともに、ご利用される団体の皆様が有意義な活動となるように支援体制を整えます。また、今まで頂いたご意見やご要望にできる限りお応えできるようにいたします。



25年度の重点項目(抜粋)

- * 市内小学校5年生の宿泊学習のための利用事前研修会の開催や出前授業の充実
- * 利用団体の活動支援の充実
- * 幼保小連携モデル事業「なかよしキャンプ」の実施
- * 雪と親しむ「スキーキャンプ」の実施
- * 青少年山の家ボランティア活動の充実

など、様々な観点から利用される皆様の活動をお手伝いさせていただきます。



自然の中になると「木々の緑」「風の音」「暖かさや冷たさ」「森のにおい」など多くのことを感じることができます。人それぞれ感じ方が違うように、自然の中での楽しさも様々あります。そして、自然の中で行う炊事やハイキング、スノーシュー体験などのプログラムは青少年の心身の健全な育成を促すエッセンスとなるでしょう。このような自然の中に囲まれた札幌市青少年山の家にご多くの皆様のご利用を職員一同心よりお待ちしております。

実施事業のご報告

第3回陶芸教室「気軽に陶芸！陶芸壁掛け作品づくり」 3月1日（日）、10日（日）

3回目の陶芸教室では、陶芸で壁掛け用のオブジェを作りました。

音符や雪の結晶の形をした作品の他、表札を作成した方もいらっしゃいました。

オプションプログラムでは、室内でのアイスクリーム作りやべっこう飴作りを行い、子どもも大人も満足されたようです。



第4回ボランティアフォローアップ研修 3月16日（土）

ボランティアスタッフのスキルアップと交流を目的としたフォローアップ研修。

4回目は大江裕子氏を講師としてお招きし、「遊び」をテーマとして、わらべうた遊びやあやとり遊びなどを楽しみました。また「子どもの成長と遊び」や「遊びの大切さ」についてのお話をしていただき、有意義な研修となりました。



利用者アンケートより

何度か利用させていただいていますが、子どもたちは大変のびのび楽しく過ごすことができ、職員の方も明るく適切な対応をしていただき、非常に満足しています。

担当職員の方に大変良くしていただき、食事もおいしくいただきました。皆大満足でした。また利用させていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。ありがとうございました。

自然の 豆知識

「根回り穴」

春が近づいても、まだまだ雪深い滝野の森。そんな中でも樹木の周りだけ、ぽっかりと穴が開くように雪がとけていきます。

この現象は「根回り穴」もしくは「根開け」と呼ばれています。

理由については「太陽からの熱エネルギーを樹木が吸収することで、樹木を中心に雪がとける」「春先の暖かい雨が樹木を伝わって落ちることで雪がとける」

「暖かい風がふいた時に、樹木のまわりの風の流れが影響して雪がとける」などの説があります。

自然の力で広がる根回り穴は、春の足跡なのかもしれません。

みなさんも暖かい日に外に出て、まわりにある春の足跡を探してみませんか・・・？



発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者（公財）さっぽろ青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地（国営滝野すずらん丘陵公園内）
電話(011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>

ひゃくしゃくかんどう
百尺竿頭

